

# 2025年12月24・25日 クリスマスイヴ礼拝・当日礼拝

司 会  
奏 楽

賛 美 讃美歌94番「ひさしく待ちにし」  
(アメージンググレイス) (それ神はその独り子を)

3つの愛

聖 書 マタイによる福音書2章1～12節 [P2] (24日)  
ルカによる福音書2章1～12節 [P85] (25日)

音 楽 聖歌隊&オーケストラ

メッセージ 「ベツレヘムは遠くない」 小山英児教育牧師 (24日)  
「旅物語—天からあなたへ」 柴田順一牧師 (25日)

賛 美 「きよしこの夜」(讃美歌109番) 献金  
頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱 大川従道主任牧師

「今日テレビの町に、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」(ルカ二の十一・聖書協会共同訳)

## 【大和ニュース】

☆メリークリスマス！主の御降誕を心から感謝し、賛美いたします。

- ・ 本日の説教者は、来年4月からこの教会の主任牧師とされます。
- ・ 明日は、横浜カルバリーチャペルから、説教者として「柴田順一牧師」をお迎えいたします。先生は元カナダインディアン宣教師でした。

☆来週の日曜礼拝(28日、9時と11時)には、JTJ 神学校創立者の岸先生をお迎えします。サックス奏者として、水泳選手として有名です。

- ・ 28日の7時と18時の礼拝は、小山先生が担当されます。

☆初詣礼拝では、有名な香月ご夫妻が特別賛美。説教は大川牧師(11時のみ)

### ＜八木重吉の珠玉の詩＞

ゆるし

神のごとく ゆるしたい

ひとが投ぐる にくしみをむねにあたため

花のようになったらば 神のまえにささげたい

## 石の枕

メリークリスマス！クリスマスは、サンタクロースの誕生日でも、七面鳥の顔を見る日でもありません。私たちを罪から救うために、2千年前に、人間となって馬小屋で生まれてくださった主イエスキリストの降誕を祝う日です。

数十年前に、「イエスがニューヨークに来られた時」という題の詩を読んだことがあります。

ある日突然イエスがニューヨークの空港におつきになるというニュースが流れた。朝刊でこれを知った銀行頭取が、「よし俺の新車で一番にお迎えに行き、おつれしよう」と決心する。しかし、あれこれ思いめぐらしている時、「待てよ、主イエスと一緒にニューヨークの町を走ると、途中で“君あの老人を乗せてやれ”とか、“あの子供づれを乗せてやれ”とかいわれるのではあるまいか」というふうなことを想像しだす。そしてついに、お迎えに行くのをやめてしまう。

このようにして、朝刊を読んだいろいろな人が自分がお迎えに行こうと一たんは決意するが、イエスとご一緒だと、こんなことが起こりそうだと思ってはじめての決意をひるがえして空港行をやめるのである。そして、イエスが空港におつきになった時、誰もお迎えにでていなかった、という詩である。（西田進先生説教集より）

これはなにもニューヨークでなくてもよい。東京でも神奈川でもよい。

クリスマス——主を迎える余地のない客間——主のこの世に来られたことを必ずしも歓迎しないもの——それは実に、我々の心の客間ではないか。

現代人は、その家からまず客間を、次に書斎を、そして子供部屋を失いつつあるといわれる。これは建築構造上の問題だけではない。これはやがて、客を忘れ、読書力を失い、子供をめんどろがる心に発展するのである。

クリスマスとは、救い主イエス様を心の客間にお迎えする日であります。

（ヨハネ黙示録3の20）